激しい新たな物語が刻まれた。なかでも本学は、 ~Let's Go」というテーマが掲げられ、半世 を抑え、今年も圧倒的な強さで4連覇を果た

会が開催された。天候にも恵まれ、

地域の大学において、第5回四大学運動競技大成蹊大学において、第5回四大戦。今年度は「列豪成蹊大学において、第50回四大学運動競技大

栄光目指し尽力

他の成蹊・武蔵・成城の3大学

総合優勝通算47回

を披露し、本学Aの1位を 村茜選手(政2)が優秀選とキープ。続く3区では植 た大きなり 2区においても1区で奪っ

手に選出されるほどの走り

期待を膨らませた。 順位を上げ、総合優勝への

したい本学であったが、

₽

そのまま良い流れを維持

げることに成功。本学は

(1) 初戦となった成城士

た。昨年同様、今大会は各の大学で団体戦が行われ 試合である。本学は連覇を 学習院、成城、成蹊の3つ 武蔵大が出場しないため、 気込みを明るく語ってくれ ちたいです」と試合前の意 クスしている様子。 今回は 11月の甲南戦に繋がるよ臼田和哉主将(済3)は 部のメンバーはリラッ試合直前であったが、 目の石井貴之選手(化2) となく1勝目を挙げる手 (化3)が勝利。3試合 手(法2)が隙を見せ



む。ところが、その相手は その日の高橋選手は

で ず、3―1で見事に勝利を のセットは相手を寄せ付け ちを落としてしまう。だが次 飾った。「調子の上がらな 取するものの、3セット目 こともあり、2セットを先 集中できずに苦しんでいた け 会宣言をし、力の限り戦う 日 そして、今大会の実行委員 員、運営委員会らが参列。 ことを誓った。式の終盤、

強いエールを送り合いる大学の応援団が互い 劉 る本 健闘 カし、優勝というすばらしい ため 前年度に比べ大きく飛躍 時年度に比べ大きく飛躍 は

變 の種目で、前年度を超える

にも多く

を た種目も、その屈辱を払い た。また、バレーボールや い、た。また、バレーボールや 種目や一般種目のように総 圧倒的な勝利を勝ち し教職員種目。 丢

昨年同様、最高得点であっぱ ばなかった。 学の合計得点は優勝には及

| 巻き 大学とも自大の点数が発表 閉会式で待ち

しかし今回の総合優 第 59

手に挑むことの難しさも知だ練習不足です。格上の相 の四大戦優勝は後輩達に

を掲載しませんか?

部活動およびサークルで、イベントの広告や部員募集の広告に

広告掲載をご希望の場合は下記までお問い合わせ下さい。

学習院大学新闻社

黎明会館316号室



学 新 閏

驚異的な猛追を見せ、レースを盛り上げた及部選手 る。1・5キロのコーく・ 1チームは4人で構成され る。各大学の応援団やチア

である及部一仁選手(済2)本学Aは、チームリーダー

す」と語った。

男女での優勝とはならな

それを見る者に感動

だいた方々に感謝していま が、とても心に残る駅伝に 部選手は競技終了後、 蔵、成城に次ぐる

周し、AとBの合計タイム 女子は1人2周、男子は4

ま、午後には男子がスター

わった時点でAが7位、B 女子優勝の余韻が残るま

で掴んだ栄冠である。

本学の総合順位は武

も含めた8人

の横野選手をはじめ、 見事に優勝。Aチ なり、女子は合計タイムで に語った。本学Bは4位と

A、Bの2チームが出場し、 である駅伝。各大学から

の盛り上がりを見せる競技 [2]日 駅伝コース] 駅伝男女

ちに余裕を持って走ること

Aと成蹊Aに抜かれて位に

まった。Bチームも、成城 は徐々に差を縮められ、

位を成城Aに明け渡してし

と嬉しそう

かける本学であったが、

は4区終盤、武蔵

4区に逆転優勝の望みを

は 走りで、他選手を大きく引 一 絵子選手(心2)が快調な で せる。本学AI区の横野理 大差をつける。本学Aは、一 大差をつける。本学Aは、 1 区終 その後も横野選手のペ

貢献した。 なった彼は、今回も勝利に も、非常に有意義な試合と | 万戦での念願の 戦での勝利と、来春のリー (水上源)

の遊佐健介選手

び交う中、今年も白熱したリーダー、観客の歓声が飛 スタート。すると、いきな 戦いが繰り広げられた。

1周目は 1位へと浮上させた。

学智院

見

だせ優勝

セットも落とさず3-

選手と当たり、一歩及ばず

|ス2試合のどちらも、負け

互いに技術を競い合い、

つのシングルスを戦うのは

っ 対戦相手の面々にとって 口 2 親交をさらに深めた選手 職

19日の初戦の相手は武蔵 い3-2で勝利を掴み取っ 一回は是非それを起こしたいころだ。 のの、チームでカバーし合 り得る話となりました。今

のの、チームでカバーし合 同日行われた成城大戦は第

の相手ですが、

成蹊大は格上

揺さぶり、順調に得点して 広く使ったプレーで相手を

ント制となり番狂わせもあ

臼田主将と高橋選手であっ まず、臼田主将がセッ

奔した。

くも勝ち、

卓球部男子

選 グルスでは、五十幡大輔選 9 を強いられた。最初のシン L

競り負けてしまう。

する。よって、残る上試合数3-0で危なげなく勝利

车

0)

栄冠

掴

む

た最終戦に高橋選手が挑 た。会場が緊張に包まれる

が残る中、

成蹊大学 れた。式には4 成蹊大学にて開

く、各選手達は試合に臨ん 次に一般種目だが、こ年も総合優勝を果たすべ」よう。

次に一般種目だが、こん

第58回四大学運動競技大会 得点結果

74 50 124

□正式種目

抜いた選手達と、それを うの親睦が深まったこと

より今大会は成功へ導かれ

ることができなかった。 作ってしまい、連敗を止め る。第2ゲームも7点続け 合を見せるが、22-| 頻繁に移動する白熱-2) が皆の期待を背負って

第58回四大戦総評

49 152.5

□一般種目

として、花火も催された。 そして、大会の締めくくり 後は毎年恒例の後夜祭が開

入る。サーブ権が

・武蔵・成城・本学のいっ

、成蹊

エスト映像が放映された。

拍手と歓声があがる。 式の

-21と取られ1

しまう。最終ゲー ところが後半に入り

ミスが目立ち始めると、

まず、今大会一番の目玉

犁

度芳しい成績を残せなから でも本学の日々の練習の積

学習院大

武蔵大

た応援団の労も、大いにね 手達を力の限り激励し 除から支えた運営委員会に ムの命運がかか

大

、と浮上させたのだ。 888 888

一体どのような興奮が待っ ているのだろうか。

りの団体戦である。昨年度 今年こそ雪辱を果たしたい は成蹊大に敗れ準優勝であ た男子バドミントン部。 今年の試合形式は例年通 20日 覇者の座、逸する 大学体育館 バドミントン男子



互いにカバーし

リーが続く。それでも粘っしい体勢に持ち込まれるラ る相手の球に翻弄され、 める。動きの逆をついてく 蹊大戦。第1試合は岩崎瞭 けの結果となった。 を持って第1ゲームを先 (史2) は21-13と

てチャンスを作るが、決め い意気込みを語った

社告

まった。磨きのかかった単独演武、強い海武を演じてくれた。そんな彼、大学ごとに分かれての演武が始 は、その寒さを跳ねのけるような力型を演じた。続いて技の紹介をした まう程の寒さである。しかし部員達型を演じた 次に、力強く少林寺拳法部が入なく迫力のある技をかけ続けた。 次第に会場の空気を緊張の色 までも送っていた。

らの姿に、観客は暖かい拍手をいる この日は生僧の曇り空。震えてし

(19日 本館前) (19日 本館前) (19日 本館前) (19日 本館前) (20日 員一回の演武の後に、3、4人での のかと首を傾げる見物客の前で、板 しな 最初に現れたのは空手道部だ。部 に胴着の上を脱ぎすてる。何をする てい が表れていた。 妻

吹の声が沸き起こり、その勇姿を讃る。複数の相手が次々とかかってく をだようづけま様、肘、埋くを指せ、る。さらに美しいのは、福田介午生 「毎度い火祭(相)のは、今年も大いに の流れるような無数/無に動きから で見ずに枚をあ砕した。そして毎年 (本後3) による掛かり箱庁と。そ 「毎日小次祭(相)のは、今年も大いに の流れるような無数/無に動きから のまかりを見せる。観楽からは感 は、日々の稽古での努力がらかがえ がりを見せる。観楽からは感 は、日々の稽古での努力がらかがえ 枚の板を砕いたり、回し蹴りでご持っていた。その後も選手達は、 輝選手(化1)が登場し、おもむろ

こいく。そんな中、佐々木信 き、3年生ばったりと、たくさんの技を威 生の基本技、

一つの技を、様々な取り方でさばい シメを飾るのは、合気道部。 2年生の自由技

美拳士(法3)と、成瀬怜菜拳士 いた。その華麗さは、側を通りすが (営1)の激しく素早い動きには、 と染めていく。なかでも、榎本真



発 行 所 学習院大学新聞社

〒171-8588東京都豊島区 目白1丁目5番1号 電話03(3986)0221内線260

発行·編集人 下里豪平

芳林堂書店 H: BOOKS HORINDO

四大戦とは、

- 各大学の持ち回りで毎年開かれ、今年で58 本学において第1回大会が開催された。以近して交流を深めることを目的とし、昭和25 運動部が出場する正式種目、学内

じて行われる今大会は、

冬季の種目も得点に含まれるため、四大戦は

事実上2月から始まっている。約8ヶ月間を通 正式種目と一般種目の合計点 3部門一般種

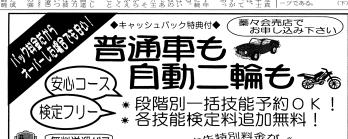
本学における最大のス





ぜひご利用下さい。

E-mail : gakushuinpress@hotmail.com



無料送迎バス

●JR池袋/中野方面 ● 沿後/野方/新井楽師方面 ● 常盤台~成增方面 ● 江古田~富士見台/豊島園方面 ● 有楽町線池袋~成增

北豊島園自動車 東京都練馬区春日町4-37-24 TelO3-3990

無得点のまま進ん

とも言えず感動的な光景である。こ

なん。スパイクを決め、着実に点

/ 差を縮めていく。 ^る。対する本学も負けじ

盤になって遂に、14-12

来年こそは優勝の一

なものとなった。

セットでは序盤から連続 ずかにリードを取ってく

鋭いスパイクで得点を重ねていく本学

と感謝の思いに満ちた胸中 さらに、「優勝することで、

を打ち明け、静かに涙を見

要

一般種目

ソフトボー:

教職員種目

合計

4 0 3

であれていた。 であれていた。 であれていた。 谷村主将は

選手達。試合終了後には、

プレッシャーを乗り越

軟式庭球 (男)

社告

もとても辛い試合で

試合終了後、体育館にあったのはって得点を奪い 結果は総合4位という少々残念』勝ち抜いてきた強敵。第1

時に、今年の教職員種目は幕をおろ

城大を相手に、どちらも6-2で

攻防の末、本学は惜しくもセットを√も、必ず優勝します」と真が入るたびに熱い声援が聞こえる。 ↓は「敗れたチームのために

摯な表情で話した。

しかし、相手もここま

決定戦の成蹊大との試合では、

ず、結果はあえなく4位となっ 勝した。次の成蹊大との一戦は、3 試合目は成城大を相手に13-2で完

ムの成績は思うようには伸び

多くの教職員が集まった。

けた。最後は相手のミスでポイント力で、際どい局面も粘り強く切り抜に押されつつも、二人の見事な団結 を稼ぎ、6―2で勝利。しかし

■ 18種目のバレーボールでは、武士がいるタエーサー (本学) と成蹊さく、 成子のでは、大会では、 といい、 なった。 大会で引起の3世 (本学) といい。 (本学) は、 情しくもし、 他ともも被が終り広げらり、 こ、 はまちつ・こ はまちつ・こ (本学) といい。 (本学) といいい。 (本学) といいい。 (本学) といいい。 (本学) といい。 (本学) といいい。 (本学) といい。 (本学) といいい。 (本学) といい。 (本学) といいい。 (本学) といいい。 (本学) といいい。 (本学) といいい。 (本学) といい

・ で第1セットを制し、 が第1セットを制し、 なのデュースは、本

を いく中で、チームが 続く第2セットも

せてくる。ミスも重なり、い相手が、必死の粘りを見

奪取し、見事優勝の座に輝 を連発する。その結果、

-14と僅差にまで追いつ

うウンド。そこでは四大戦の隠れた ルの3種目に、今年も各大学から

流れを本学に呼び込む。

と思います」とのこと。満足げな表しサー(本学B)と成ストライクを取れたことが良かった。に勝ち進んだのは、

ところ、「タイミングよく相手かられ、試合後、勝利の決め手を尋ねた》

スへともつれ込んだ。緊迫 ど、ミスなく得点に繋げてが続く。両者一歩も引か」どちらに転ぶかわからない

逃げきれるかと思いきや、 ると、15-9と本学が優位

に立った。この勢いのまま

本学の各競技得点

レーボール男子

打点を挙げた、就職部の笠原敏裕さ

その後の5回表を守り通し、結果は続く4回裏でも追加点を獲得した。

悲願

の連覇

−0で優勝。鮮やかな完封試合と

波に乗った本学は4回表も死守し、

桂木教授の安定

教職員種目が行われている。

学生達の試合が終わったコートや

事射止めた初 硬式庭球混合ダブルス



ポレーで繋ぎ、第7ゲ スエースからリズムを掴になるも、林選手のサービ このゲームを奪取。 し弱腰にならなかっ ン、カウント3ー5と いれるなどのミスが にした。だが第8ゲー

新 閏

坐

ことが出来ました」と笑顔 四大戦という大舞台で見

が 硬式庭球での活躍を期待し 水線を残した本学。今後も

唯一のオープン一般種目

- が見事功を奏し、

ハンドボールコー | 学であった。野本梢選手



げず果敢に攻め続け、2-

点失った後が疲れのピ 試合後、盤若選手は「1 後輩の育成に力を入

CAMPUS GUIDIE

募集のお知らせ

キャンパスガイドでは、学内外 で行われる部活動およびサークル のイベントを紹介しています。



多くの学生が 目を通す大学新 聞にあなたが所 属する団体の情 報を掲載してみ ませんか?

学習院大学新聞社 3面

種目が行われた。女子ダブ 男子・女子のダブルス、 ルスは、準決勝を前に惜し 日目に混合ダブルスの計3 一般硬式庭球は

| 関れ、準優勝に。2日目の | 決勝に進出するも成蹊大に | 大勝に進出するも成蹊大に | (法4) ペアが決勝へ出場・(営2)・青木幸恵選手 は 合いになった。そんな中、 相手に序盤、ゲームの取り なる。準決勝は、武蔵Aを を上げていき、勝利を収め本学は中盤から徐々に調子 決勝戦の相手は成蹊A。

の一つの一つでは、二人は「優勝目指し」が続くを一一の一つの一つが、二人は「優勝目指し」が続くを一一の一つでは、一人は「優勝目指し」が続くを一人を一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、 一人で始まった大一番。第1 ち良く試合をさせないよう

が続くが、 い。結局1ポイントの としてしまった。その後2 /引き雕される。 続く いも連取されて

ントを握られる。後がなく

あったが、相手の球に翻弄 1にまで詰め寄った。第10

、相手に上手くチャンス」 一ブと安定したラ一ブと安定したラ ● も諦めずにボレーを決める 際財を決する最終ゲーム けンドスマッシュや、深い は ロブで30 ー 0 にする。相手 戦 かん で た 攻したのは本学。グラ と が、最後はダブ 学 戦へと駒を進めた。女子決 戦。4年連続出場を果たし 展 一般種目パドシアンプ、大選手(高3)ペプと、本 小が今年の月安共に決勝 アによるやじが、同一市の対 は、毎年必ず、位に貫入込、学りの村付降近選手(第3)ペプ 一般種目パドシアンプ、大選手(高3)ペプと、本 かんが今年の月安井に大勝 ペアが成蹊大に見事勝利。 ペアが成蹊大に見事勝利。

這 なる

ト先取する。30-30に

-で、相手を前後に

2本連続のナイスサー に持ちこんだ。

「相手は上手かったですあった。試合後、林選手は に発揮した林選手・青木選 人でしっかり繋げる 今大会で6連覇を達成して

接戦を

フットサル女子

こうして、互い

選手 (政3) のシュー

混戦の中相手のシュ

貴重

一瞬の隙をつかれ、

た。後半3分、東海林幸穂

制

する

ィフェンスを構えていく。

またしてもゲームを動かしまたしてもゲームを動かしまたしてもゲームを動かる。 いき、本学Bは第2セット

西2号館付近にてお待ちらががでしょう?かがでしょう?ちょっとした空き時間にア

年で最後なので勝利を目指 することができました。 今に2度優勝、昨年は準優勝 ている村石選手は、「過戦。4年連続出場を果な

続く第2セット目では、

す。次第に点差は広がって早く反応し、確実に打ち返

| 進撃は止まることを知らた

ラ はいよいよ後がなくなって B ※ 学Aだった。 逆に、 本学B ※ 日で割したのは本 翻えている。 がに、 本学B ※ 日でおいました。 はのなる中で、 はのなる中で、 はのなる中で、 はのなる

放たれる一撃は、本学Aを

に満ちていた

男女共に優勝し

から互角の戦いを見せる。

戦で武蔵大に3-0で勝利 らした。決勝戦の相手は、 学代表のD. T.

めぎ合いながら前半が終

だが時間が経つにつれ、

1で試合終了。本学が優勝

社告

バドミントン男女

い厳しい場面。

哩。しかし、こームも落とせな

追いつくまでには至



ッシュだった。要所要所で 村石選手の得意な攻 いた選手達の表情は、清々ず、全力を尽くして戦い抜 戦であったのにも関わら かべた。同チームによる対 石川選手は満面の笑みを浮 優勝するなど、自分にと 4年目にして初めて四十

勝利し、優勝を手にした。 一は、第3セットを21-17で た。コート上で大きく躍動場内が固唾を呑んで見守 、一スを掴んでいく。 鮮やかなスマッシュを -21で死守することに

おいでませ タピオカ

> のタピオカ入りドリンク。るのは市場台湾から直輸入合年の学祭で大新が提供す

たまらならい!

学智院大学新聞社



(実は密かに「急募!」だったり)

学習院大学新聞社

黎明会館316号室 電話03-3986-0221 (内線2607)